

・経過記録（保育の記録）

メリット

・経過記録用紙は手元にある為、パッと出して見やすい。

デメリット

- ・正直、分かりにくい。
- ・記録用紙に○をつけたら再度見返すことはない。
(何となく丸がついているときも・・・)
- ・子どもにとっては環境に配慮できていない、子どもの経験がつかみにくいいため課題自体が見えない。

・年案

メリット

・去年と違う流れを提案したい時などに話し合いの材料となる。

デメリット

- ・保育課程を下ろしたうえでの年間になっていないため、理念や方針・目標に添えているのか不安が残る。
- ・毎年ほぼ同じなのに、繰り返し書いている。

・月案

メリット

- ・手書きの良さがある。(書きながら理解できる)
- ・書くたびに、子どもの発達を担任と話し合える場として利用している。

デメリット

- ・書くのが大変だし、時間がかかる(1日以上)
- ・書いている途中、業務で中断すると忘れてしまう。
- ・書くモチベーションをあげることも必要。

月案の改善点

- ・iPadを使ってだと、文章をそのまま全員で共有できるので助かる。(全員の理解度が増す)
- ・子ども達一人ひとりのできたこと」を追うことで「できること」を増やしていきたい。そのために書類を活用できたら保育が充実するのではないだろうか。

・週・日案がないこと

メリット

- ・1.2歳児のみ必要性を感じて、週案・日案を作成している。身体運動・手先運動も担任(3名)でしっかりと共有していきたい為。
- ・週のリーダーを決めて週案に沿って保育を行い、反省は日々行っている。
- ・0歳児は、特に必要性を感じない。
- ・一人ひとりの日々に合わせた保育を行うので、計画を立てても活用できない。
- ・もしクラス全体の計画ができるとしたら、10月頃からかな。

デメリット

- ・今、必要なので楽しく計画を立てているが、出さなきゃいけないというプレッシャーがあると、たぶん書けないと思う。モチベーションが下がる。
- ・月齢差があるので、週案自体立てられない。もし立てても、計画通りに進まないの、意味がないように思う。